

令和5年度
(2023年度)

上下水道局の取り組み

<局の方針・考え方>

水道・下水道事業の持続的・安定的な経営に取り組んでいくため、公営企業として独立採算を原則としながら、戦略的な経営の推進と水道ビジョン2022・下水道ビジョン2022に掲げる以下の理想像の実現をめざします。また、水道法改正による水道の基盤強化や下水道法改正による浸水対策の強化、SDGsの達成など、社会情勢の変化に局一体となって迅速に対応できる執行体制を整備します。

【基本理念】

未来につなぐ 枚方の水道

未来につなぐ 枚方の下水道

<局の構成>

経営戦略室上下水道計画課

経営戦略室上下水道財務課

上下水道総務室総務課

上下水道総務室営業料金課

上水道室上水道管理課

上水道室浄水課

上水道室上水道工務課

上水道室上水道保全課

下水道室下水道管理課

下水道室汚水整備課

下水道室雨水整備課

下水道室下水道施設維持課

<主な担当事務>

- (1) 局の事務事業の見直しの総括に関する事。
- (2) 局の総合計画及びその調整に関する事。
- (3) 局の予算及び決算に関する事。
- (4) 文書及び法規に関する事。
- (5) 職員の人事、給与及び福利厚生に関する事。
- (6) 水道及び下水道の整備に関する事。
- (7) 局の工事の検査及び審査に関する事。
- (8) 局の危機管理に関する事。

重点的な取り組み：適正な予算編成と執行管理

長引く新型コロナウイルス感染症の影響や電気料金を始めとする物価高騰への対応など、公営企業の経営環境がさらに厳しくなる中、将来にわたって安定的に水道・下水道サービスを提供できるよう、経営基盤の強化や財政マネジメントの向上を図る必要があります。このことから、上下水道局が一体となり、将来世代に負担を先送りしないよう、計画的な事業執行と長期的視野をもった財政運営を行います。

重点的な取り組み：中宮浄水場更新事業

安全・安心で持続可能な水道の供給を実現するために、令和9年度（2027年度）からの本格稼働を目指し、新たな中宮浄水場の詳細設計を進めるとともに、排水池や膜ろ過棟などの建設に着手します。

完成予定図（本図はイメージのため今後の進捗に伴い変更が生じる場合があります）



重点的な取り組み：水道施設等の更新・耐震化事業

枚方市水道施設整備基本計画に基づき、引き続き津田低区配水場の既設2号池の耐震工事を進めるとともに、田口山配水場ポンプ棟耐震補強工事などに取り組みます。
水道管路については、送水管・配水本管・配水支管の更新及び耐震化を効率的・効果的に進めます。

重点的な取り組み：下水道施設の老朽化対策・地震対策

市民生活の安全確保を図り、老朽化対策などに取り組むため、下水道整備基本計画や下水道ストックマネジメント計画・下水道総合地震対策計画を着実に推進し、維持管理に係るライフサイクルコストの最小化を図ります。

「管路施設」については、改築に向けた実施設計を行い、改築工事、耐震化工事に取り組むとともに管渠等の老朽化や誤接続により汚水管渠に雨水等が浸入する「雨天時浸入水」の対策として昨年度に実施した流量調査に基づき、送煙調査等を行います。

また、「ポンプ施設」については、機械設備の改築工事、受変電設備等の工事に取り組みます。加えて、耐震性能の確保に向けた工事及び実施設計業務に取り組むとともに、耐震性能の有無を確認する耐震診断業務を進めます。

<北部ポンプ場内部>



<送煙調査>



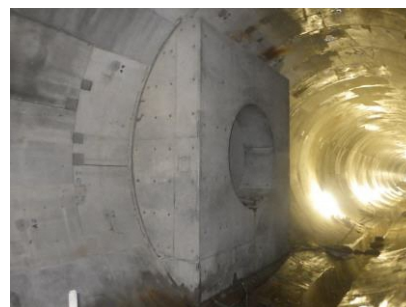
重点的な取り組み：雨水整備事業・浸水対策

近年の計画降雨を上回る集中豪雨対策として、下水道浸水被害軽減総合計画に基づき、取り組んでいる雨水貯留施設等の整備を完成します。また、浸水頻度の高い地域の被害軽減に向けた設計業務に取り組みます。

<シールドマシン到達>



<地下での流入管の接続>



重点的な取り組み：危機事象への対策

生活に不可欠な水道水の供給と下水道による快適な生活環境の確保を持続するため、今後、発生が予想されている南海トラフを震源とする巨大地震や風水害等の危機事象への備えとして、市の危機管理担当部署や災害協定締結団体と連携した合同給水訓練の実施をはじめ、緊急出動班の体制整備や上下水道局危機管理マニュアルの適宜改訂など、職員一丸となって取り組みます。

重点的な取り組み：オンライン化の推進

上下水道局において紙媒体等で受付している各種申請や事務手続き等について、市民・事業者の利便性向上や効率的な業務執行体制の構築に資するため、Logo フォーム等の積極的な活用や先進的にオンライン化を実施している他市等の事例、手法などを参考とし、引き続きオンライン化の具現化に向けた課題解決の検証等を行い、上下水道局としてオンライン化を推進します。

重点的な取り組み：人材育成

水道・下水道事業には、専門技術の習得が必要なため、外部研修への参加を促進するとともに、必要な技術が継承されるよう、各職場はもとより、上下水道局全体においても引き続き OJT を推進します。

また、水道・下水道事業は、お客さまの信頼の上に成り立っており、24 時間 365 日公務員であることを全職員が認識し、服務規律の確保を徹底していくため、人権尊重を含めたコンプライアンスの浸透・定着に向けた取り組みを継続的に行うとともに、職員一人ひとりが生き生きと持てる能力を最大限に発揮できるよう、風通しの良い職場環境づくりの醸成を図ります。

重点的な取り組み：広報・情報発信

水道・下水道の取り組みを積極的に PR するため、情報誌「Water 通信」の発行、ホームページや SNS の活用のほか、出前講座など様々な機会を通じて、引き続き広く情報発信します。

また、上下水道局が所有する下水道マンホールへの広告付きマンホール蓋設置の推進や使用できなくなったマンホール蓋販売の取り組みにより、下水道事業の PR と新たな財源の確保を図ります。